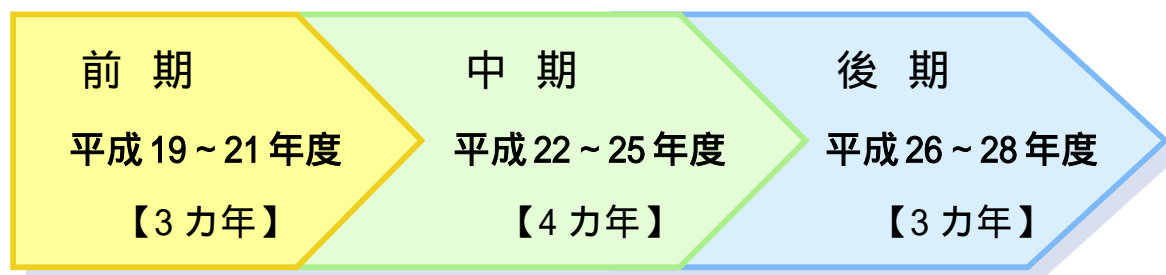


## 4 . 基本計画

### ( 1 ) 施策展開の考え方

先に設定した「5つの重点目標と施策展開方針」を踏まえながら、具体施策のメニューと実施時期を設定します。

#### 実施時期の区分



#### 実施計画の策定

ここで設定する具体施策について、今後「個別事業」として実施すべき内容を示した「実施計画」を平成19年度内に策定します。

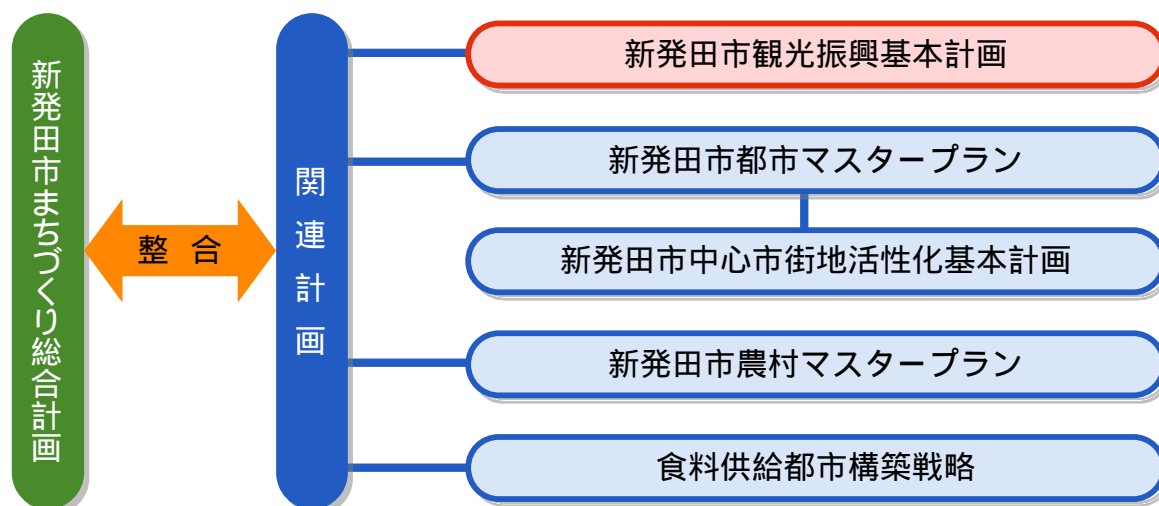
#### 数値目標

成果指標	年度	H19	H20	H21	H22
新発田市への観光客数(人)		2,823,000	2,879,000	2,936,000	2,994,000
宿泊者数(人)		491,000	505,000	525,000	546,000
中心市街地のイベントの来訪者数(人)		312,000	321,000	324,000	327,000
「食」をテーマとしたイベントの回数(回)		6	6	6	6
「食」をテーマとしたイベントの来場者数(人)		36,000	37,500	38,900	40,000

\*数値目標は、「新発田市まちづくり総合計画 中期基本計画」による目標値。

#### 計画の見直し

社会経済状況の変化や計画の達成度合いなどを踏まえつつ、必要に応じて観光振興基本計画の見直しを行います。



## (2) 具体施策と実施時期

城下町を極める

旧市街地の風情と活力の創造

区 分	具 体 施 策	実施時期
1 もてなし力の向上	住民の観光に対する認識の向上 歴史・文化に対する知識の向上 観光ガイドボランティア等人材養成 新発田検定等資格認定制度の確立 市民団体等への支援制度	前 期 前 期 前 期 前 期 前 期
2 体験ツアー の企画・開発	たまり駅・まちの駅の活用 職人や伝統文化の推進 伝統行事・祭等との連携	前 期 前 期 中 期
3 情報発信の充実	魅力あるガイドブック・マップの作成 月岡温泉との連携 商店街・観光関連団体との情報交流システム構築 大学等との連携 芸術家・文化人・職人等の情報データ化	前 期 前 期 中 期 前 期 中 期
4 歴史的景観の再生	寺町周辺地域の景観整備 県立新発田病院跡地の活用 新発田川・水辺空間の景観整備 歴史的建造物の保存・活用 空き店舗の活用・整備	前 期 中 期 中 期 中 期 前 期
5 交通システムの改良	月岡温泉との交通システム構築 快適な歩行空間の整備 市街地公共交通の充実 新たな交通手段の導入(デマンドタクシー等) 駐車場空車状況提供システムの導入	前 期 前～中期 前～中期 後 期 後 期

区 分	具 体 施 策	実施時期
<p>1 月岡温泉集客 戦略プログラム</p>	<p>温泉資源の新たな活用                      宿泊パック等の企画・開発                      イベントの企画・実施                      市街地との観光セットメニュー開発                      周辺観光施設等の整備                      温泉街景観整備                      観光案内板・標識整備                      市街地との交通システム構築(再掲)                      温泉活用指導者等人材育成                      外国人観光客の掘り起こし</p>	<p>前 期                      前 期                      前 期                      前 期                      前～中期                      前～中期                      前～中期                      前～中期                      前～中期                      前～中期</p>
<p>2 日帰り温泉施設 の活用</p>	<p>各施設の特性・泉質の活用推進                      周辺観光資源との連携                      日帰り温泉施設間の連携                      市街地との交通システムの構築                      観光案内板・標識整備</p>	<p>前 期                      前 期                      前～中期                      中 期                      中 期</p>

区 分	具 体 施 策	実施時期
1 菓子文化の振興	月岡温泉との連携 既存イベント等との連携 PR宣伝活動 新発田ブランドの普及・開発 後継者の確保・育成	前 期 前 期 前～中期 後 期 後 期
2 地域食材・特産品の活用	地消地産の推進 新メニューの企画・開発 郷土料理の活用 飲食関係団体との連携体制の構築 安全管理システムの導入 販路拡大事業	前 期 前 期 前 期 前～中期 前～中期 中～後期
3 食イベントの充実	既存イベントの連携・支援 新イベントの企画・実施 創作料理コンクール等の実施	前 期 前～中期 中 期
4 PR・キャンペーンの充実	月岡温泉との連携 観光拠点施設の活用 『食の駅』整備事業 商品への付加価値付け 首都圏、友好都市でのキャンペーン実施	前 期 前 期 前 期 中～後期 中～後期
5 推進体制の構築	生産者・食品関係団体による 推進組織の確立 委託生産システムの構築 消費者ニーズの調査・分析 市場状況の調査・分析	前 期 中 期 中 期 中 期

区 分	具 体 施 策	実施時期
1 海洋資源の活用	藤塚浜・紫雲寺記念公園の利用促進 漁村との交流機会の創出 漁港の活用 海洋レクリエーションの普及	前 期 前～中期 中 期 後 期
2 山岳資源の活用	登山道・ハイキングコースの整備・充実 ゴルフ場等、里山の利活用 森林レクリエーションの普及	前 期 前 期 後 期
3 田園資源の活用	各地域資源の活用、保全 農村との交流機会の創出 景観の保全、整備	前～中期 前～中期 中～後期
4 河川資源の活用	加治川及び周辺環境の活用、整備 河川レクリエーションの普及	前～中期 後 期
5 情報発信 システムの構築	各地域や種類別の花木情報の提供 各地域の祭・伝統行事情報の提供	前 期 中 期
6 各地域への支援体制	地域の宝ものづくり活動の支援 各地域の観光資源の再発掘 地域における人材の育成・伝承活動	前～中期 前～中期 中～後期

区 分	具 体 施 策	実施時期
1 市民との連携	住民の観光に対する認識の向上(再掲) 観光ガイドボランティア等人材養成(再掲) 新発田検定等資格認定制度の確立(再掲) 市民団体NPO等の連携、活動促進 環境美化活動 情報交流・発信拠点の整備	前 期 前 期 前～中期 前 期 中～後期 前～中期
2 観光関係組織の確立	関係団体間の連携 周辺市町村との連携(広域観光ネットワーク) 民間事業者との連携	前 期 前～中期 前～中期
3 情報発信 システムの構築	マスメディアの活用 インターネットの活用 携帯電話等の活用 観光施設・商店街等の活用	前 期 前 期 前～中期 前 期
4 地域ブランド化戦略	サポーター制度の導入 既存支援団体の統合、拡充 特産品・農作物の宅配システム	前～中期 前～中期 前～中期